

番号	カテゴリー	質問事項	回答	回答日
1	対象地の範囲・形状	<p>対象地の法面（下図の赤枠部分）は提案の範囲に含めてもよいか？</p> 	<p>赤枠部分は、プランの対象地としても構いません。</p>	2026年5月11日
2	対象地の範囲・形状	<p>築山の形状（トップの高さや斜面）を削ったり盛ったりして変形させることは可能か？</p>	<p>会場計画に則り築山の形状を定めているため、大幅な形状の変更は避けてください。ただし、植栽や構造物を配置する過程で生じる多少の切り盛りについては問題ありません。</p>	2026年5月11日
3	既存の樹木と境界について	<p>対象地の周囲にある既存の樹木は残りますか？</p>	<p>はい、現状の樹木は残ります。</p>	2026年5月11日
4	既存の樹木と境界について	<p>植栽した木の枝などが、対象地の境界線（園路側など）を越えて広がることは問題ありませんか？</p>	<p>園路の歩行者の通行や安全の妨げにならない範囲であれば、対象地と園路の境界線を越えて上空に広がっても問題ありません。</p>	2026年5月11日
5	照明と設備について	<p>作品に対する照明の設置場所は決まっていますか？また、会場側で照明は設置されますか？</p>	<p>会場側では、夜間の歩行者の安全確保のため、園路に機能照明（照度0.5lux程度）を設置します。必要に応じて、作品を照らす演出用照明（系統電源を使用しないもの）を応募者自身で設置することも可能です。</p>	2026年5月11日
6	維持管理（水やりなど）について	<p>水やり（灌水）の仕様はどうなっていますか？</p>	<p>日常の定期的な水やりは、博覧会協会側で行います。必要に応じて近くの散水栓を使用し、応募者自身で行ってください。</p>	2026年5月11日

7	維持管理（水やりなど）について	花がら摘みなどの維持管理は協会側の対応に含まれますか？	協会側で行う維持管理には含まれていません。市民団体や学生など多様な主体と協働での維持管理をご検討ください。なお、横浜市緑の協会を通じて、維持管理にご協力いただける市民団体の紹介も可能ですので、適宜ご相談ください。	2026年5月11日
8	植栽・土壌・資材について	斜面部分に植える中低木の高さ制限や、支柱の決まりはありますか？	明確な高さ制限や支柱の細かい規定はありません。来場者の安全や斜面の保全にご配慮いただいた上で、自由にご提案ください。	2026年5月11日
9	植栽・土壌・資材について	工事で出た土や、外部から持ち込む土についてのルールはありますか？	基本的には対象地内で処理し、外部からの土の持ち込みは避けてください。大量の土が余る場合は、会場内の指定場所に運搬していただくなど、業者との調整が必要になります。	2026年5月11日
10	植栽・土壌・資材について	現在の土の成分データはもらえますか？また、肥料を混ぜてもよいですか？	詳細な土壌分析は行っていませんが、黒土に近い土であり、元々農業に使用されていた土であるため、植物の生育に支障はないと認識しています。なお、土壌改良や肥料の追加はしていただいても構いません。	2026年5月11日
11	植栽・土壌・資材について	会場内に生えている下草（雑草）や、造成前の土に埋もれている種を再利用することは可能ですか	多数の業者が工事に動いている状況のため、掘り取りや調整のタイミングを合わせる事が難しく、現時点では再利用の確約はできません。見込まない方向でプランをご検討ください。	2026年5月11日
12	利用用途について	対象地（花壇）の内部に人が入るような設計（集客施設など）は想定されていますか？	斜面部分であるため、人が内部に入ることは想定していません。基本的には外から眺める花壇となります。	2026年5月11日